

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見内容	会議での回答内容	回答課	対応方針
1	塩津委員 (地域活動協議会 (海老江東))	盆踊りを実施して、沢山の人が参加してくれた。このような機会に町会加入のPRが出来ればよかったが、町会の役員は忙しかったり、PRに不慣れで、上手にPR出来なかった。そういったPRを区役所に協力してもらいたい。	難しい問題であり、担い手がないという状況につながる問題である。区としては若者に参加していただくよう、きっかけ作りとして防災イベントを通じて、また、子育て層に広報周知していきたいと考えている。各地域の活動の際に担い手の確保をするような広報をしていきたい。	市民協働課 (市民協働) (地域活動支援)	町会への加入促進や地域活動の担い手の確保については、区役所としても大変難しい重要な課題と認識しています。引き続き、区広報誌での定期的な広報周知や各地域のホームページをはじめ、X（旧Twitter）やFacebookなどSNSを活用した情報発信の技術的スキル向上に向けたまちづくりセンターによる支援を継続していきます。また、区役所においては、当区への転入手続きの際に町会加入を呼び掛けるリーフレットを配布するとともに、各地域においても多数の参加者が見込まれる地域のイベントの場で有効なPRをするため、地域活動協議会の活動を紹介するチラシを配布するなどの取組を進めています。引き続き、各地域と相談させていただきながら、町会加入促進、担い手の確保に取り組んでまいります。

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見内容	会議での回答内容	回答課	対応方針
2	浅香委員 (地域活動協議会 (玉川))	国会でも女性を起用している。高齢者ばかりではなく、若い人でも男性ばかりではなく、女性も含めていろんな人を区政会議委員にした方が良い。		企画総務課 (総務)	区政会議委員について、地域からご推薦いただくにあたり、特に条件を設けておらず、地域において適任の方をご推薦いただいていると考えております。令和5年10月1日からご就任いただく委員については、すでにご推薦いただいておりますので、今後の改選において、性別等の条件を設けるかどうか、また設ける場合はどのような条件を設けるのかなど、各地域のご負担なども考慮して検討してまいります。 また、区政会議には「地域からの推薦」のほか、「公募」及び「学識経験を有する者その他区長が適当と認める者」として選任された委員もおられます。このうち「学識経験を有する者その他区長が適当と認める者」については、区役所において選任する際に、地域活動などの経験や専門的な知識、地域の実情に即した意見聴取が期待できるということに加えて年代や性別も考慮しながら選任してまいります。
3	岡田委員 (地域活動協議会 (福島))	区政会議委員については、次期もやることになった。若い人になってもらうよう地域でも話したが、年配の人が多いため若い人が発言しにくいということで自分が選ばれた。地域選出委員の半分くらいを、区役所が調整して50代以下の委員にしてはどうか。			

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見内容	会議での回答内容	回答課	対応方針
4	塩津委員 (地域活動協議会 (海老江東))	部会は市民協働部会、保健福祉・総務部会の2つあるが、青年部会とか若い人が参加しやすい部会を作ってはどうか。		企画総務課 (総務)	区政会議及び各部会では、福島区の区政運営や事業計画について、委員の皆様からご意見をいただいております、ご指摘のとおり幅広い年代の方々が参加していただくことは大変意義があると考えています。 現在設置している市民協働部会及び保健福祉・総務部会では、小中学生の防災教育や福島区の魅力発信、子育て支援、教育支援など、若い世代の方々に関係する事業や取組についてご意見をいただいております、若い方々にも比較的議論に参加しやすいテーマもあるものと考えております。 今回のご指摘を踏まえて、今後も若い世代の方がより参加しやすい区政会議の運営について、検討してまいります。
その他いただいたご意見					
5	岡田委員 (地域活動協議会 (福島))	この夏に盆踊りを実施したが、楽しんでいるのは町会に入っていない人で、町会に入っている人は運営にかかりきりで、「疲れて楽しなかった。」という感想を聞いた。みんなが楽しめる方法があればよいと思う。			
6	廣瀬委員 (地域活動協議会 (吉野))	盆踊りをしても手伝ってくれている町会役員は忙しくて食事をする余裕すらなく、全く楽しめない。町会加入の勧誘は難しいと感じている。例えば、11月3日にみかん狩りを予定しているが、町会からの補助があるので4人家族で参加すれば1年間の町会費以上のお得感がある。こういった良い点を切り口にして町会への参加を進めてくれないかと町会長会議でも言っており、いろいろ知恵を絞る必要がある。たくさんの方が参加する盆踊りが町会をPRするのに一番良い機会だと思っている。			
7	松井委員 (地域活動協議会 (新家))	今年の盆踊りは地域の各団体が協力したうえに、隣接する吉野地域の方も手伝ってくれたので、盛況に開催できた。しかし、町会の役員も高齢化してきており、今後の地域活動の担い手がどういう具合になるのかが心配である。			
8	岡田委員 (地域活動協議会 (福島))	マンションが増えてきており、町会の加入者が減っている。マンションの住民と地域の人とのつながりが必要と言われていたが、マンション内では隣人とのつながりも希薄で、管理組合などの話し合いも参加しない人が多いと聞いている。盆踊りや防災訓練の周知ポスターの掲示も「管理組合に諮らないとできない」と言われる。PTAも最近はいくじ引きで決めていると聞いており、地域の行事への参加を依頼してもラインなどで断わりの連絡があり、地域に溶け込みたくないという感じがする。人と顔を合わせて話す機会が減ると、ますます人と人とのつながりが薄れていくように感じる。			